

当社物流技術の新動向

YAMAHA NEW LOGISTICS TECHNOLOGY

熊田 博仲*

Hironaka Kumada

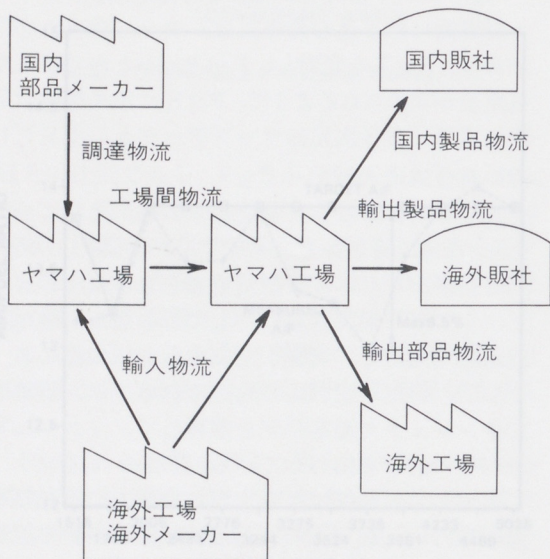
1 まえがき

商品を開発し、製造し、販売して行く為には、種々の技術が必要である。

その中で物流に関する技術は、当社の様に商品の種類、生産工場、仕向地がいずれも多様化している場合、発生する費用も膨大な為、特に重要である。そこで今回は当社物流技術の新しい動向について御紹介したい。

2 概要

物流には下記種類があり、各々に求められる技術の動向は異なる。



又、その技術には管理システムの様なソフトと容器、梱包仕様等のハードがあるが、今回は当社が新しく開発導入したハードを中心に紹介する。

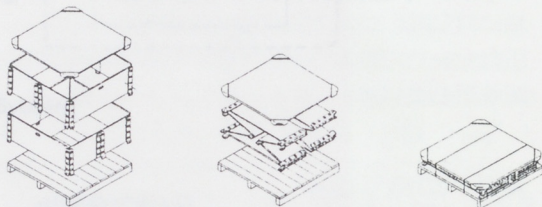
3 調達物流

☆求められている技術動向

- 部品輸送荷姿の汎用化、モジュール化
- 一貫パレチゼーション
- リターナブル化

☆最近の開発導入事例（物流企画）

PASSの部品輸送に導入した折畳みコンテナ。これで森↔福岡を往復。



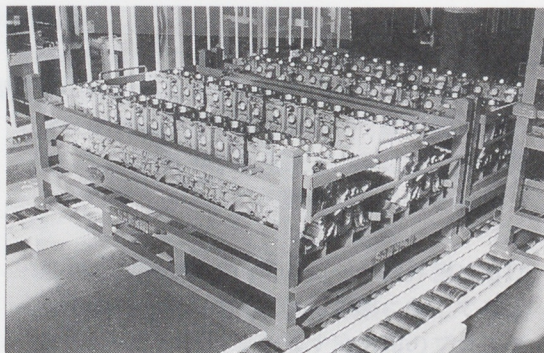
4 工場間物流

☆求められている技術動向

- 出荷側、入荷側の自動積載装置との連動

☆最近の開発導入事例（物流企画）

浜北及び三信の加工工場↔磐田の組立工場に導入したブロッシリンダー輸送パレット。



* 生産企画本部生産企画部

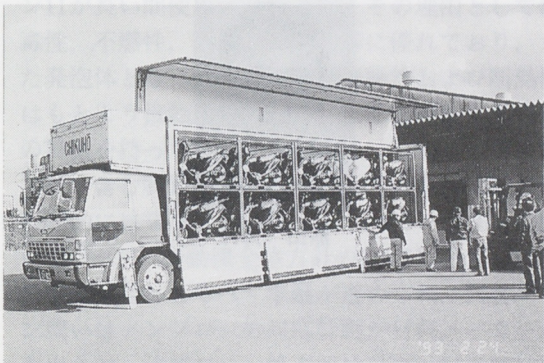
5 国内製品物流

☆求められている技術動向

- トラック運転手に女性の進出が、多くなっている
るので人力の積み降しをやめて、フォークリフトの積み降しにしたい。
- 専用車から汎用車への転換

☆最近の開発導入事例（物流企画）

国内のスクーター輸送を、従来のマンモス車への人力積み込みから、ウイング車へのフォークリフトによるパレット積み込みとした。



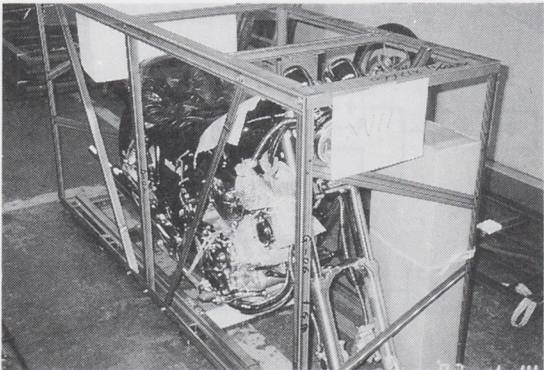
6 輸出製品物流

☆求められている技術動向

- 地球環境保護の為の脱木材、脱発泡スチロールの梱包仕様
- 海上コンテナ寸法とのモジュール化

☆最近の開発導入事例（購三課）

- 海上コンテナ寸法からモジュール化されたスチール梱包（これにより梱包の自動化も可能となった。）



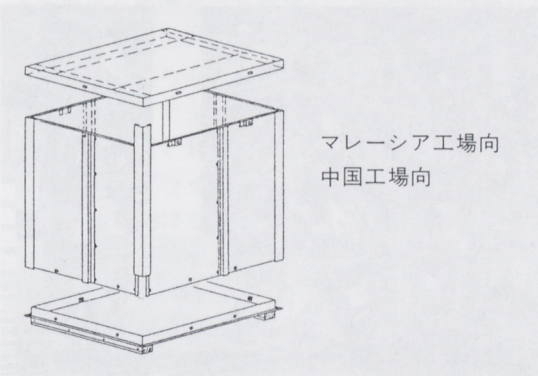
7 輸出部品物流

☆求められている技術動向

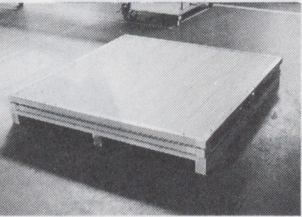
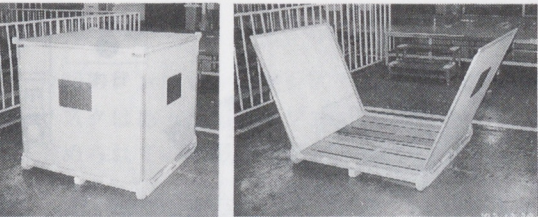
- 地球環境保護の為脱木材仕様
- 海上コンテナ寸法とのモジュール化
- リターナブル化
- 開梱の容易さ

☆最近の開発導入事例

1. C K D部品ワンウェイ用ワンタッチ組立式チールボックス（購三課）



2. C K D部品リターナブル用ワンタッチ組立式合板ボックス（物流企画）



アメリカ工場向

8 輸入物流

☆求められている技術動向

- 開梱の容易さ
- 梱包の廃止
- リターナブル化

☆最近の開発導入事例（物流企画）

台湾YMT⇒YMCのスクーター輸入用のリターナブルパレット



9 むすび

物流技術はこれから増々重要性を増すと思われる。若き技術者の参加を願ってやまない。

■著者



熊田 博仲

●リターナブルパレットによる物流システム

